

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【公表番号】特表2010-515342(P2010-515342A)

【公表日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2010-018

【出願番号】特願2009-544002(P2009-544002)

【国際特許分類】

H 04 N 5/232 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/232 Z

H 04 N 5/225 D

H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フォトセンサのアレイを有する画像センサと、

光学系と、

1つ以上のアクチュエータと

を有する、ある場面のデジタル画像を生成する画像処理装置であって、

前記光学系は、前記場面の画像が前記画像センサで生成されるように、前記場面から到来する光線の少なくとも一部を前記画像センサに向か、

前記デジタル画像を生成する際、前記場面から到来する光線が、前記画像センサの前記フォトセンサ上で分散されるように、前記1つ以上のアクチュエータは、前記画像センサ及び前記光学系の少なくとも一方を動かし、該分散は、前記画像センサで生成される前記場面の画像の空間周波数を、前記画像センサのナイキスト周波数未満の値に制限するようになされる、画像処理装置。

【請求項2】

当該画像処理装置が、デジタル静止画カメラ及びデジタルビデオカメラの少なくとも一方を形成している、請求項1記載の画像処理装置。

【請求項3】

画像処理装置において或る場面のデジタル画像を生成する場合にエイリアシングを減らす方法であって、前記画像処理装置は、フォトセンサのアレイを有する画像センサと、光学系とを有し、前記光学系は、前記場面の画像が前記画像センサで生成されるように、前記場面からの光線の少なくとも一部を前記画像センサに向か、当該方法は、

前記場面から到来する光線が、前記画像センサの前記フォトセンサ上で分散されるように、前記画像センサ及び前記光学系の少なくとも一方を動かし、該分散は、前記画像センサで生成される前記場面の画像の空間周波数を、前記画像センサのナイキスト周波数未満の値に制限するようになされる、方法。